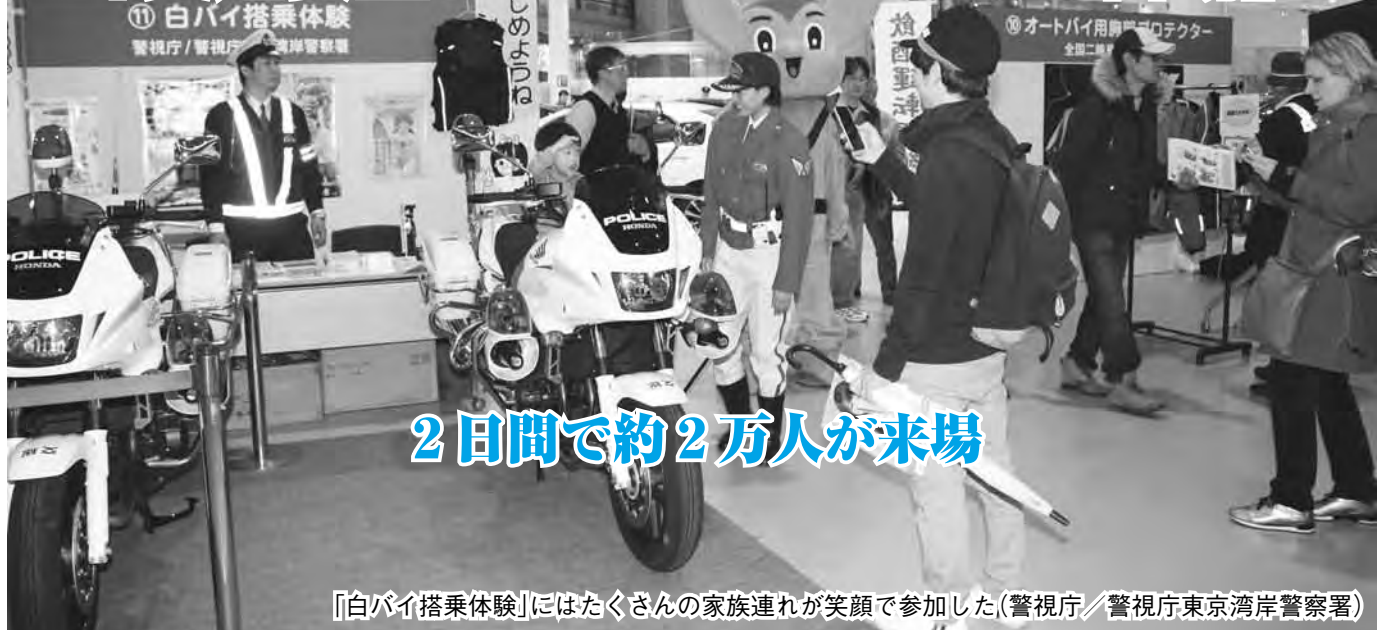


# 楽しみながら体験する交通安全啓発イベント 「交通安全。アクション2017 お台場」



『白バイ搭乗体験』にはたくさんの家族連れが笑顔で参加した(警視庁/警視庁東京湾岸警察署)

**日** 本自動車会議所は11月18日(土)、19日(日)の両日、東京・江東区のパレットタウン内「メガウェブ」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2017 お台場」を開催した。「交通安全。アクション」は昨年から年2回開催しており、今年は4月の「春の全国交通安全運動」期間中に高齢者をはじめ幅広い年齢層が大勢訪れるターミナル駅である「新宿」で開催。2回目となる今回は、秋の行楽シーズン中に東京有数の人気スポットであるお台場で開催し、多くの家族連れやカップルなどで賑わった。来場者は2日間で約2万人(主催者集計)にも上り、盛況のうちに幕を閉じた。

昨年の交通事故死者数は3,904人で、昭和24年以來67年ぶりの3,000人台になったものの、歩行中・自転車乗車中の死者の割合が高く、高齢者の死者数が全体の半数を占めるなど、交通事故情勢は依然として厳しい概況が続いている。開催初日、主催者を代表して挨拶した当会議所の中島哲専務理事は、「交通事故死者数は減っていると言われていたのですが、事故の一つひとつが大変な悲劇の積み重ねです。その悲劇を1件でも、2件でも減らす気持ちで2日間取り組んでいきましょう」と呼び掛けて、イベントがスタートした。



会場の子どもたちも参加して盲導犬のお仕事などを学んだ「盲導犬ふれあい教室」(全国盲導犬施設連合会、日本盲導犬協会)

「アクション2017 お台場」は、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都、江東区教育委員会が後援し、当会議所の会員団体はじめ開催の趣旨に賛同する官民合わせて48の参画団体・企業が一体となって実施。「家族で広げよう交通安全」をテーマとし、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる15の体験型ブースを用意したほか、スタンプラリーや交通安全ビンゴ大会、キャンパスクイーンなどのステージショーも行われ、家族連れをはじめ、小さな子どもから高齢者まで多くの来場者がイベントを楽しんだ。

「交通安全。アクション2017 お台場」

会場風景



大勢の家族連れなどで賑わった会場の「メガウェブ」



子どもからお年寄りまで大勢の人が楽しんだ「交通安全ピノゴ大会」



華やかなステージで来場者を魅了したキャンパスクイーンのみなさん



人間の目の錯覚を体験させてステージを盛り上げるピエロのタフィーさん



ライディングシミュレーター＆ゲンチャレ  
(日本二輪車普及安全協会)



おでかけぱんだ・頭部保護帽  
(日本自動車研究所)



子ども安全免許証  
(日本自動車連盟)





俊感性測定「あなたの俊感性は何歳？」  
(イーティエフ)



てんけんくんぬりえ体験コーナー  
(日本自動車整備振興会連合会)



自動車運転適性診断「ナスバネット」  
(自動車事故対策機構)



首都高安全広報隊  
(首都高速道路)



反射材体験  
(全日本交通安全協会)



オートバイ用胸部プロテクター  
(全国二輪車用品連合会)



盲導犬ふれあい広場  
(日本盲導犬協会／全国盲導犬施設連合会)



交通安全シミュレーターコーナー  
(東京都青少年・治安対策本部)



電動車いすの安全利用  
(電動車いす安全普及協会)



交通安全約束手形  
(共同ブース)



飲酒疑似体験ウォーキングゲーム  
(共同ブース)



飲酒運転事故加害者の手記  
(東京都交通安全協会)



スタンプラリーのスタート&ゴールでもある「総合受付」



司会者がイベントの様様をライブ中継



愛嬌いっぱい子どもたちと接する警視庁のマスコットキャラクター「ピーポくん」



子どもたちがいつも駆け寄ってくるマスコット「てんけんくん」(日本自動車整備振興会連合会)